

(別 紙)

平成23年度全国国民健康保険診療施設協議会事業報告

全国国民健康保険診療施設協議会（略称「国診協」）は、昭和36年10月に国民健康保険診療施設医学会として設立、昭和57年3月全国国保医学会と改称、平成元年3月に法人化を経て、設立以来51年目（法人化後23年目）を迎えた。この間、国民健康保険診療施設（国保直診）を拠点とする地域包括医療・ケアの推進を目的に、各種の活動を実施してきている。

国においては、超高齢社会、雇用基盤の変化、社会保障費の急速な増大などを背景に現役世代も含めた全ての人が、より受益を実感できる社会保障制度の再構築を目指して「社会保障・税一体改革関連法案」が今国会に提出され、市町村国保の財政運営の都道府県単位化の推進、高齢者医療制度の見直し、地域包括ケアシステムの創設などの議論が行われている。

また、平成24年度は診療報酬・介護報酬の同時改定が行われた年であり、改正の基本的な考え方は、医療と介護の役割分担の明確化と地域における連携体制の強化の推進及び地域生活を支える在宅医療等の充実等である。特に介護報酬改定における「地域包括ケアシステムの構築」では、地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保にあたり、介護報酬によって事業者における処遇改善を評価することとされた。なお、医療資源が限られた地域（自己完結した医療を提供している地域、医療従事者の確保等が困難な地域、医療機関が少ない地域）への対応についての検討も進められており、地域包括医療・ケアの充実への要望とともに中山間地域等医療資源不足に悩む国保直診に対する支援を引き続き強く要望していくこととする。

このような情勢を踏まえ、国診協においては国保直診ヒューマンプランの基本理念のもと、都市部の急速な高齢化の進行も視野に入れた新しい時代における国保直診の役割、機能を確立し、医師・看護師の確保等その基盤強化を図るための事業を実施することが最大の課題である。このため、国、国民健康保険中央会、都道府県国民健康保険団体連合会その他関係団体と緊密な連携を図りながら、平成23年度の事業を実施してきたところである。

平成23年3月に発生した東日本大震災等により被災した国保直診に対しては、会員施設の協力を得て、医療材料や医師派遣、義援金の支援を行った。会員施設の復興復旧まで支援を継続してゆく所存である。

なお、国診協にとっては、平成24年度公益社団法人として新たなスタートの年であり、改めて超高齢社会に対応する地域包括医療・ケアの構築のため、今後とも事業の充実に努めていくものである。

1. 総会等の開催状況

(1) 総会

1) 決算総会

- ① 期 日 平成23年6月24日（金）
- ② 会 場 東京都 芝パークビルA P 浜松町
- ③ 主要議題 （報告事項）
平成22年度収支予算補正について
（議決事項）
平成22年度事業報告の認定について
平成22年度収支決算の認定について
定款の一部改正について
役員を選任について
（協議事項）
全国国保地域医療学会について
地域医療現地研究会について
公益法人改革への対応について

2) 臨時総会

- ① 期 日 平成23年11月11日（金）
- ② 会 場 高知県 高知市文化プラザかるぽーと「大ホール」
- ③ 主要議題 （議決事項）
公益社団法人申請内容の変更について

3) 予算総会

- ① 期 日 平成24年2月24日（金）
- ② 会 場 東京都 芝パークホテル
- ③ 主要議題 （議決事項）
平成24年度事業計画について
平成24年度収支予算について
会長専決事項委任について
一時借入金について
国診協定款及び内部規程について
役員を選任について

(2) 理事会

1) 決算理事会

- ① 期 日 平成23年6月24日（金）
- ② 会 場 東京都 芝パークビルA P 浜松町
- ③ 主要議題 （報告事項）
平成22年度収支予算補正について

(議決事項)

平成22年度事業報告の認定について

平成22年度収支決算の認定について

定款の一部改正について

役員の選任について

(協議事項)

全国国保地域医療学会について

地域医療現地研究会について

公益法人改革への対応について

2) 予算理事会

① 期 日 平成24年2月24日(金)

② 会 場 東京都 芝パークホテル

③ 主要議題 (議決事項)

平成24年度事業計画について

平成24年度収支予算について

会長専決事項委任について

一時借入金について

国診協定款及び内部規程について

役員の選任について

(協議事項)

全国国保地域医療学会について

地域医療現地研究会について

(報告事項)

第51回全国国保地域医療学会の結果について

公益社団法人移行認定申請について

(3) 都道府県国保直診開設者協議会会長会議

① 期 日 平成23年11月11日(金)

② 会 場 高知県 高知市文化プラザかるぽーと

③ 主要議題 第51回全国地域医療学会国保直診開設者サミット事前打合せ会
「開設者の本音と決意」等

(4) 国診協支部長・支部設置国保連合会事務局長合同会議

① 期 日 平成24年2月24日(金)

② 会 場 東京都 芝パークホテル

③ 講 演 「国民健康保険制度の現状と課題」

厚生労働省保険局国民健康保険課長 濱谷 浩樹 氏

(5) 正副会長会議

① 開催回数 10回

平成23年 4/15 6/3 6/24 8/23 9/15 10/11 11/10 12/9

平成24年 1/13 2/24

② 主要議事 国の動向への対応及び組織・事業に関する重要事項について

(6) 常務理事会

① 開催回数 6回

平成23年 6/3 6/24 10/11 11/10 平成24年 1/13 2/24

② 主要議事 国の動向への対応及び事業運営について

(7) 監事会

① 期 日 平成23年6月3日(金)

② 主要議事 平成22年度事業及び会計の監査

2. 調査研究委員会開催状況

(委員会設置規定等に基づく委員会)

開設者委員会 3回(平成23年 6/24 11/11 平成24年 2/24)

全体会議 1回(平成24年 3/2)

総務企画委員会 3回(平成23年 4/15 8/23 12/9)

調査研究委員会 3回(平成23年 7/12 平成24年 1/13 2/28)

広報情報委員会 4回(平成23年 6/7 8/23 12/9 平成24年 3/2)

地域医療・学術委員会 2回(平成23年 5/27 平成24年 1/20)

歯科保健部会 3回(平成23年 6/3 7/12 平成24年 1/27)

老人保健福祉調査研究会 2回(平成23年 9/15 平成24年 2/29)

地域包括医療・ケア認定制度審査委員会
2回(平成23年 9/7 平成24年 2/28)

地域包括医療・ケア認定制度運営委員会
2回(平成23年 9/7 平成24年 3/2)

国診協・全自病協との打合せ会
2回(平成23年 9/7 平成24年 3/2)

国診協・自治医科大学との懇談会
1回(平成24年 2/29)

医師臨床研修指導医養成講習会ディレクター会議
1回(平成24年 1/27)

(臨時的設置の委員会等)

公益法人検討委員会 1回(平成23年 6/7)

3. 学会・研修会等の開催状況

(1) 第51回全国国保地域医療学会

- ① 期 間 平成23年11月11日（金）～12日（土）
② 開 催 地 高知市文化プラザかるぼーと
③ 参 加 者 学会 1,540名（うち市民公開講座：一般市民309名）
交流会 643名

- ④ メインテーマ 「^{こころざし}志・^{きずな}絆・^{たすけあい}扶」龍馬の心土佐にあり
～地域包括医療・ケア医新～

⑤ 学会内容

1) 特別講演

演 題 「Catch Your Dreams 夢への挑戦」
～『生かされてきた』ことへの感謝をこめて～

講 師 坂本 達（株式会社ミキハウス 人事部長）

司会者 富永芳徳（国診協常任顧問）

（滋賀県：公立甲賀病院長）

2) 臨床研修指導医養成講習会開催100回記念ワークショップ

演 題 「国保直診から見た臨床研修制度」

座 長 岩崎 榮（卒後臨床研修評価機構専務理事）

発表者 富永芳徳（滋賀県：公立甲賀病院長）

〃 倉本 秋（（社）高知医療再生機構理事長）

〃 白川和豊（香川県：三豊総合病院長）

〃 内田 望（高知県：梶原町立国民健康保険梶原病院長）

特別発言者 山口 昇（国診協常任顧問）

（広島県：公立みつぎ総合病院病院事業管理者）

〃 邊見公雄（（社）全国自治体病院協議会会長）

3) 宿題報告

演 題 地域住民と共に市立病院の健全経営をめざして

～病院ボランティアと地域活動～

報告者 樋口定信（国診協常務理事）

（熊本県：上天草市立上天草総合病院事業管理者兼院長）

司会者 今井正信（国診協相談役顧問）

（香川県：三豊総合病院名誉院長）

4) 国保直診開設者サミット

テーマ 「開設者の本音と決意」

～おらんく^らの地域医療～

司会者 北 良治（国診協理事・開設者委員会委員長）

(北海道：奈井江町長)

ㄥ 押淵 徹 (国診協副会長)

(長崎県：国保平戸市民病院長)

助言者 濱谷浩樹 (厚生労働省保険局国民健康保険課長)

ㄥ 岩崎 榮 (卒後臨床研修評価機構専務理事)

発言者 横尾俊彦 (国診協開設者委員会委員)

(佐賀県：多久市長)

ㄥ 青沼孝徳 (国診協副会長)

(宮城県：涌谷町町民医療福祉センター長)

ㄥ 田中 全 (高知県：四万十市長)

ㄥ 矢野富夫 (高知県：梶原町長)

特別発言者 瀬戸上健二郎 (国診協常務理事)

(鹿児島県：薩摩川内市下甌手打診療所長)

5) シンポジウム

テーマ 「魅力ある地域包括医療・ケア」

～高めよう志・強めよう絆・上げよう扶～

司会者 赤木重典 (国診協常務理事)

(京都府：京丹後市立久美浜病院長)

ㄥ 高見 徹 (国診協常務理事)

(鳥取県：日南町国民健康保険日南病院長)

助言者 濱谷浩樹 (厚生労働省保険局国民健康保険課長)

ㄥ 前沢政次 (国診協参与)

(日本プライマリ・ケア連合学会理事長)

発言者 糴井眞二 (大分県：国東市民病院事業管理者兼院長)

ㄥ 和田智子 (秋田県：にかほ市国民健康保険小出診療所長)

ㄥ 木村年秀 (香川県：三豊総合病院歯科保健センター医長)

ㄥ 掛橋培子 (高知県：認知症老人を抱える家族会代表)

特別発言者 山口 昇 (国診協常任顧問)

(広島県：公立みつぎ総合病院病院事業管理者)

ㄥ 阿波谷敏英 (高知大学医学部家庭医療学講座教授)

6) 市民公開講座 (第1部)

演 題 坂本龍馬と幕末の土佐

講 師 宅間一之 (高知県：歴史民俗資料館館長)

司会者 沖 勇一 (第51回全国国保地域医療学会副会長)

(高知県：仁淀川町国民健康保険大崎診療所長)

7) 市民公開講座 (第2部)

演題 「明るくさわやかに生きる～アグネスが見つめた生命～」

講師 アグネス・チャン (歌手・エッセイスト・教育学博士)

司会者 松浦喜美夫 (第51回全国国保地域医療学会会長)

(高知県：いの町立国民健康保険仁淀病院長)

8) 研究発表 一般演題 274題 (口演発表 131題、ポスター討論 143題)

	演題分類	演題数		演題分類	演題数
1	臨床	19	13	行政	2
2	看護	49	14	施設内チーム医療	11
3	薬剤	3	15	施設間連携	12
4	臨床検査	5	16	教育	12
5	放射線	5	17	保健事業	10
6	栄養管理	10	18	感染防御	3
7	リハビリ	14	19	安全管理	10
8	歯科・口腔	13	20	ターミナルケア	5
9	ボランティア	2	21	患者サービス	5
10	介護	7	22	情報開示・IT	5
11	在宅医療・ケア	18	23	医師・看護師の確保	4
12	診療施設の運営・管理	11	24	地域活動に関するもの	18
			25	その他	21

9) 研究発表 ワークショップ 演題数 9題

①看取りについて (病院・施設・在宅) (5題)

座長 鈴木紀彰 (千葉県：国民健康保険直営総合病院君津中央病院長)

〃 中村伸一 (福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長)

②摂食・嚥下・口腔ケアについて (4題)

座長 植田耕一郎 (東京都：日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授)

〃 高橋徳昭 (愛媛県：伊予市国民健康保険直営中山歯科診療所長)

10) 参加型ワークショップ (KJ法)

テーマ 「地域で最期まで暮らすためには」

高齢者や疾病を抱えた者が、自立して住み慣れた地域で最期まで暮らすには、在宅医療・介護などの連携や在宅での看取りなど多くの困難があります。社会資源の他に地域の絆や助け合う力などの地域力の利活用が必要ですが、色々な地域でのさまざまな資源を洗い出し、それらの諸問題の解決策を探る。

ディレクター 岩崎 榮 (NPO 法人卒後臨床研修評価機構専務理事)

タスクフォース 佐々木学 (長野県：売木村国民健康保険直営診療所長)

中村伸一（福井県：おおい町国民健康保険名田庄診療所長）

林 拓男（広島県：公立みつぎ総合病院副院長）

グループワーク出席者 42名

【Aグループ】＜過疎地や離島など地域的な問題＞ 11名

【Bグループ】＜訪問看護・介護サービスなど社会資源の不足の問題＞ 12名

【Cグループ】＜麻痺など抱える疾病の問題＞ 8名

【Dグループ】＜在宅での看取りなど支える家族の問題等＞ 11名

傍聴者 約50名

11) ランチョンセミナー

① 「経腸栄養から経口栄養への移行」

—高齢者の低栄養に対する栄養管理（中鎖脂肪酸）—

講 師 足立香代子（東京都：せんぼ東京高輪病院栄養管理室長）

座 長 菅原由至（広島県：公立みつぎ総合病院外科部長）

参加人数 150名

② 「高齢患者の栄養サポート」

講 師 宮澤 靖（高知県：社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部長 /
栄養サポートセンター長）

座 長 大原昌樹（香川県：綾川町国民健康保険陶病院長）

参加人数 140名

③ 「鹿島台病院におけるラップ療法の15年を振り返る」

講 師 鳥谷部俊一（宮城県：大崎市民病院鹿島台分院診療部長）

座 長 佐野正幸（高知県：本山町立国民健康保険嶺北中央病院長）

参加人数 75名

④ 「南三陸町災害医療報告～これからの災害対策～」

講 師 西澤匡史（宮城県：公立南三陸診療所）

座 長 青沼孝徳（宮城県：涌谷町町民医療福祉センター長）

参加人数 150名

⑤ 「震災対応 そして今」

講 師 千葉昌子（宮城県：涌谷町町民医療福祉センター健康福祉課保健師）

座 長 小松洋文（高知県中央西福祉保健所保健監）

参加人数 140名

⑥ 「運動器慢性痛に対する整形外科的アプローチの現状」

講 師 川崎元敬（高知大学医学部整形外科学講座講師）

座 長 青野 寛（高知県・高知市病院企業団立高知医療センターペインクリ
ニック科長）

参加人数 75名

⑦ 「大規模災害における口腔保健の重要性」

講 師 足立了平（兵庫県：神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授）

座 長 奥山秀樹（長野県：佐久市立国保浅間総合病院歯科口腔外科医長）

参加人数 55名

(2) 第25回地域医療現地研究会

① 開催期日 平成23年5月27日（金）～28日（土）

② 開催地 鳥取県日野郡日南町

③ メインテーマ 「地域包括医療・ケアを都市へ広げよう」

～町は大きなホスピタル～

④ 参加人員 340名

⑤ 内 容 先進的国保直診活動状況の視察研究

研修施設 日南町国民健康保険日南病院

日南町健康福祉センターほほえみの里

日南町介護福祉センターあかねの郷

(3) 地域包括医療・ケア研修会

① 開催期日 平成24年1月20日（金）～21日（土）

② 開催地 東京都 笹川記念会館

③ 参加人員 92名

④ 内 容 メインテーマ「大震災に学び、地域医療を育む」

(1日目)

講演 [I] 「国民健康保険制度の現状と課題」

講師 厚生労働省保険局国民健康保険課長 濱谷 浩樹 氏

講演 [II] 「総合医をめざす人材育成」

講師 京都府・洛和会音羽病院長 松村 理司 氏

パネルディスカッション [I] 「震災における総合医の役割」

講師 岩手県・岩手県立釜石病院長 遠藤 秀彦 氏

講師 宮城県・公立南三陸診療所管理者 西澤 匡史 氏

講師 和歌山県・国保野上厚生総合病院内科医師 西村 安司 氏

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科総合地域医療学講座特任教授 井口清太郎 氏

講演 [III] 「地域医療の心をどう伝えるか」

講師 長野県・組合立諏訪中央病院名誉院長 鎌田 實 氏

(2日目)

パネルディスカッション [II] 「病院歯科経営について」

講師 長野県・佐久市立国保浅間総合病院技術部長兼歯科口腔外科医長 奥山秀樹 氏

講師 広島県・公立みつぎ総合病院歯科部長 占部 秀徳 氏

講師 島根県・飯南町立飯南病院歯科口腔外科部長 三上 隆浩 氏

講演 [IV]「福島原発事故と健康リスク管理」

講師 公立大学法人福島県立医科大学副学長 山下 俊一 氏

パネルディスカッション [Ⅲ]「診療所が面白い」

講師 秋田県・にかほ市国保小出診療所長 和田 智子 氏

講師 長崎県・平戸市国保度島診療所長 浜田 勉 氏

講師 鹿児島県・奄美市住用国保診療所長 野崎 義弘 氏

ランチョンセミナー

平成22年度調査研究事業結果から学ぶこと

「特別養護老人ホームへのリハビリ支援にかかる調査研究事業」

報告者 国診協リハビリテーション部会長 村上 重紀 氏

第50回全国国保地域医療学会優秀研究から3題

(最優秀)「特別養護老人ホームにおけるオーラルヘルスケア・マネジメントの効果について」

講師 京都府・京丹後市立久美浜病院歯科医師 足立 圭司 氏

(優秀)「地域における栄養支援体制の構築と在宅NSTの活動」

講師 広島県・公立みつぎ総合病院管理栄養士 岡 美由樹 氏

(優秀)「当院の医師事務作業補助業務への取り組み」

講師 長野県・松本市波田総合病院医療秘書 白木 澄子 氏

ミニシンポジウム「国診協の次世代を担うエースたちが夢を語る」

講師 青森県・外ヶ浜町国保外ヶ浜中央病院内科医長 中野朝子 氏

講師 富山県・かみいち総合病院内科部長 佐藤 幸浩 氏

講師 高知県・梼原町立国保梼原病院長 内田 望 氏

(4) 国保直診・口腔保健研修会

① 開催期日 平成23年11月10日(金)

② 開催地 高知市 高知新阪急ホテル

③ 参加人員 55名

④ 内 容

パネルディスカッション

「東日本大震災における被災地支援を経験して」

講師 岩手県・岩手県歯科医師会会長 箱崎 守男 氏

講師 広島県・公立みつぎ総合病院リハビリ部主任技師長・近藤 健二 氏

(5) 医師臨床研修指導医養成講習会

① 開催回数 8回

(平成23年 8/12～14 9/16～18 9/23～25 12/16～18

平成24年 1/20～22 2/3～5 2/17～19 2/24～26)

② 受講修了者 国診協・全自病協会員施設指導医有資格者 375名 (平成23年度分)

4. 地域包括医療・ケア認定制度の認定

平成23年度 認定施設 2施設 (累計76施設)

認定医 1人 (累計115人)

認定専門職 10人 (累計235人)

5. 主要調査研究事業

(1) 家族介護者の実態と支援方策に関する調査研究事業 (老健助成事業)

目 的 介護が必要になっても住み慣れた地域で生活を続けられる環境を整えていくためには、自宅で要介護高齢者の面倒をみる介護者の身体的、精神的負担を和らげることが重要な取り組みである。

また、家族介護者の性別や介護者と要介護者の関係によって、介護上で抱える悩みや課題は大きく異なっており、それぞれの状況に合った支援が求められる。

このことから、家族介護者や要介護者との関係の違いに着目した家族介護者の実態や課題、支援策の研究を行う。

(2) 地域包括ケアシステム推進のための地域ごとの課題の整理分析・解決方策等に関する調査研究事業 (老健助成事業)

① 目 的 今後さらなる高齢化がさらに進み、限られた地域資源の中で、地域住民の健康ニーズを分野横断的に把握・評価し、効率の良いサービスを展開することが求められている。従来から保健師活動において「地域診断」が行われているが、この考え方を拡張、促進することにより、個々の地域における課題を多面的に捉えて適切な対策に繋げていく標準的な手法が確立されることが望まれる。

このことから、各地域において客観的なデータに基づき地域の課題を把握し、実現性の高い対策や事業計画につなげるための支援策の検討を行う。

② 実施施設 4施設

(3) ケアプランへのリハビリ支援が介護支援専門員及び介護職のケア内容に及ぼす効果に関する調査研究事業 (老健助成事業)

① 目 的 先行調査にて、リハビリ専門職が介護職員に生活リハビリの視点を指導・助言を行なうことにより、ケアの質が向上する効果が確認されている。よってその効果を実践するためには、生活リハビリの視点をケアプランに

取り入れることが重要である。

このことから、リハビリの視点を取り入れたアセスメント方法やケアプランの作成、プランに沿ったケアの実践を可能にする方策を明らかにすることで、リハビリ専門職によるケアプラン作成支援、さらには、リハビリ専門職がいない地域や施設でも、利用者の症状や状態等に応じた生活リハビリの実施が可能となる方策の検討を行う。

② 実施施設 6施設

(4) 高齢期における介護予防と生活習慣病予防・重症化予防のための包括的な介護予防事業に関する調査研究事業（老健助成事業）

- ① 目的 高齢者を、介護、生活習慣病等の予防の観点から支援するうえでは、生活の場である市町村が主体となって実施することが重要と考えられる。今後、市町村において、効果的・効率的に高齢期の者に対して介護予防を実施するためには、制度の切れ目、医療・介護・予防の切れ目をなくし、介護予防及び生活習慣病予防・重症化予防を含めた包括的な介護予防事業が必要となる。

このことから、市町村と医療機関（国保直診施設）が連携して、生活習慣病予防・重症化予防も考慮した介護予防事業を実施し、その効果の評価を行い、高齢期に対する効果的な介護予防事業の実施方法についての方策の検討を行う。

② 実施施設 9施設

(5) 在宅高齢者に対する効果的な栄養・食事サービスの確保等に関する調査研究事業（老健助成事業）

- ① 目的 在宅高齢者に対する食事支援は、各自治体において、配食サービス等が提供されているが、コスト等の課題もあり、必ずしも高齢者一人ひとりの状態に適した食事が提供されているとは言い難い。

しかし、食事が不十分になると低栄養となり、要支援・要介護状態になりやすくなるばかりでなく、感染症などの病気にかかりやすくなるため、在宅高齢者に対して効果的に栄養・食事サービスを確保・提供することは非常に重要な課題となっている。

このことから、在宅高齢者に対する栄養・食事サービスのあり方を検討し、そのためのサービスの確保・提供のための方策の検討を行う。

② 実施施設 5施設

6. 表彰

(1) 地域包括ケアシステム推進功績者・国診協事業推進功績者表彰

- ① 表彰式 平成23年11月11日（金）（第51回全国国保地域医療学会）

② 会 場 高知市文化プラザかるぼーと

③ 受賞者 表彰者 52名

(2) 全国国保地域医療学会優秀研究表彰

① 表彰式 平成23年11月11日（金）（第51回全国国保地域医療学会）

② 会 場 高知市文化プラザかるぼーと

③ 受賞者 最優秀1名 優秀5名

7. 支部事業に対する支援

(1) 都道府県支部主催国保地域医療学会に対する支援

(2) 都道府県国保直診開設者協議会活動に対する支援

(3) 都道府県支部振興費の交付

(4) ブロック協議会開催経費の交付

8. 広報・情報提供の推進

(1) 「地域医療」誌発行 第49巻第1号～第49巻第4号

(2) 「地域医療」特別号（第50回全国国保地域医療学会特集）発行

9. 医師確保対策事業

自治体病院・診療所医師求人求職支援センターの運営

10. 東日本大震災・長野地震における国診協の取組

(1) 大震災の概要

3月11日14時46分、東北地方太平洋沖を震源としてマグニチュード9.0

3月12日3時59分、長野県北部を震源としてマグニチュード6.7が発生。

(2) 国保直診・国診協の取組

① 医療材料等の支援

被災地区の国保直診からの要請に基づき、国診協役員等の国保直診を中心に医療材料等の支援の対応をお願いした。

[支援要請の国保直診]

(青森県) 黒石市国保黒石病院、鯉ヶ沢町立中央病院、今別町国保今別診療所

田子町国保町立田子診療所、新郷村国保診療所

(岩手県) 国保藤沢町民病院、陸前高田市国保広田診療所

大船渡市国保歯科診療所

(福島県) 公立藤田総合病院

(長野県) 栄村国保栄村歯科診療所

[支援した国保直診]

(千葉県) 国保直営総合病院君津中央病院

(長野県) 組合立諏訪中央病院、佐久市立国保浅間総合病院

(滋賀県) 公立甲賀病院

(広島県) 公立みつぎ総合病院
(香川県) 三豊総合病院
(宮崎県) 国保高原病院
(社)全国国民健康保険診療施設協議会

② 人的支援

宮城県医療整備課・気仙沼市立本吉病院より、医療救護活動への医師派遣要請があり、5月～6月の間、国保直診病院・全国自治体病院協議会関係病院（下記施設）の支援により、医師等（32人）が気仙沼市立本吉病院で人的支援活動を行った。

[支援した国保直診・全自病協関係病院]

(北海道) 黒松内町国保病院、幌加内町国保病院
(青森県) 国保大間病院
(秋田県) 横手市立大森病院
(東京都) 青梅市立総合病院
(千葉県) 国保直営総合病院君津中央病院、国保松戸市立病院
(富山県) 南砺市民病院
(静岡県) 富士市立中央病院
(滋賀県) 公立甲賀病院
(和歌山県) 野上厚生総合病院
(山口県) 美祢市立美東病院
(香川県) 三豊総合病院
(長崎県) 国保平戸市民病院
(熊本県) 上天草市立上天草総合病院、公立玉名中央病院、熊本市市民病院
(大分県) 国東市民病院、杵築市立山香病院

③ 緊急支援金の募金活動

全国の国保直診の仲間等から寄せられた義援金11,600千円を被災した下記の施設に支給した。

また、今年度の国診協の会費は免除とした。

(岩手県) 陸前高田市国保広田診療所、大船渡市国保越喜来診療所、
大船渡市国保歯科診療所、宮古市国保田老診療所
(宮城県) 栗原市立栗駒病院、登米市立米山診療所、女川町国保診療所、
公立志津川病院、気仙沼市立本吉病院
(福島県) 南相馬市立総合病院、川俣町国保山木屋診療所、川内村国保診療所、
浪江町国保津島診療所

参 考

- 平成23年10月31日時点における調査による国保直診の人的支援活動（予定を含む）
（国診協から依頼した気仙沼市立本吉病院への人的支援は除く）
 - （北海道） 国保剣淵町立診療所、日高町立門別国保病院、公立芽室病院
更別村国保診療所、むかわ町国保穂別診療所
 - （青森県） 黒石市国保黒石病院、国保五所川原市立西北中央病院
公立野辺地病院、六戸町国保病院、三戸町国保三戸中央病院
南部町国保名川病院
 - （岩手県） 宮古市国保川井診療所、遠野市国保宮守歯科診療所
一関市国保室根診療所、二戸市国保浄法寺診療所
八幡平市国保安代診療所、金ヶ崎町国保金ヶ崎診療所
奥州市総合水沢病院、奥州市国保衣川歯科診療所
一関市国保千厩歯科診療所、西和賀町国保沢内病院
 - （宮城県） 丸森町国民健康保険丸森病院
 - （秋田県） 横手市立大森病院
 - （山形県） 酒田市立八幡病院、天童市民病院、最上町立最上病院
小国町立病院、白鷹町立病院
 - （茨城県） 県西総合病院
 - （埼玉県） 川口市立医療センター、国保町立小鹿野中央病院
 - （千葉県） 総合病院国保旭中央病院、鴨川市立国保病院
国保直営総合病院君津中央病院、国保直営君津中央病院大佐和分院
国保多古中央病院、公立長生病院、南房総市立富山国保病院
国保松戸市立病院、君津市国保小櫃診療所
 - （神奈川県） 平塚市民病院、小田原市立病院、三浦市立病院、大和市立病院
相模原市国保内郷診療所
 - （新潟県） 関川村国保関川診療所
 - （富山県） 射水市民病院、金沢医科大学氷見市民病院、黒部市民病院
市立砺波総合病院、南砺市民病院、公立南砺中央病院
かみいち総合病院、あさひ総合病院
 - （石川県） 加賀市民病院、国民健康保険小松市民病院
国民健康保険能美市立病院、公立松任石川中央病院、
公立つるぎ病院、津幡町国民健康保険直営河北中央病院
公立羽咋病院、国民健康保険志雄病院、町立富来病院

- 公立能登総合病院、市立輪島病院、公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院、珠洲市総合病院
- (福井県) 南越前町国民健康保険今庄診療所、越前町国民健康保険織田病院
若狭町国民健康保険上中病院、おおい町国保名田庄診療所
- (山梨県) 南部町国民健康保険診療所、南部町国民健康保険万沢診療所
組合立飯富病院、北杜市立塩川病院
国民健康保険富士吉田市立病院、道志村国民健康保険診療所
- (長野県) リバーサイドクリニック、信濃町立信越病院、国保依田窪病院
長野市戸隠診療所、長野市国保鬼無里診療所、市立大町総合病院
松本市立波田総合病院、飯田市立病院、佐久市立国保浅間総合病院
組合立諏訪中央病院
- (岐阜県) 国保関ヶ原病院、下呂市立金山病院、高山市国保高根診療所
- (静岡県) 浜松市国保佐久間病院
- (愛知県) 津島市民病院、新城市民病院
- (三重県) 尾鷲総合病院、紀南病院
- (滋賀県) 公立甲賀病院、長浜市立湖北病院、公立高島総合病院
甲賀市立信楽中央病院
- (京都府) 公立山城病院、公立南丹病院、京丹後市立弥栄病院
- (兵庫県) 姫路市国民健康保険家島診療所、淡路市国民健康保険北淡診療所
- (奈良県) 吉野町国民健康保険吉野病院、山添村国保波多野診療所
明日香村国保診療所、曾爾村国保診療所
- (和歌山県) 橋本市民病院、公立那賀病院、国保日高総合病院
国保野上厚生総合病院
- (鳥取県) 岩美町国民健康保険岩美病院、南部町国民健康保険西伯病院
日南町国民健康保険日南病院
- (島根県) 雲南市立病院、浜田市国保診療所連合体
- (岡山県) 備前市国保市立備前病院、備前市国保市立吉永病院
- (広島県) 公立みつぎ総合病院、市立三次中央病院、大和診療所
- (山口県) 美祢市立美東病院、周防大島町立大島病院、下関市立角島診療所
- (徳島県) 美馬市国民健康保険木屋平診療所
那賀町国民健康保険日野谷診療所
那賀町立上那賀病院、つるぎ町立半田病院
- (香川県) 綾川町国民健康保険陶病院、三豊総合病院、三豊市立永康病院
綾川町国民健康保険綾上診療所
- (愛媛県) 国保久万高原町立病院、松野町国保中央診療所、西予市立宇和病院

鬼北町日吉診療所

(高知県) 四万十町国保大正診療所、四万十町国保十和診療所
梶原町国保梶原病院、梶原町保健福祉支援センター
本山町立国保嶺北中央病院

(福岡県) 田川市立病院

(佐賀県) 唐津市民病院きたはた、小城市民病院

(熊本県) 国保水俣市立総合医療センター

(大分県) 豊後大野市民病院

(宮崎県) 小林市立病院、日向市立東郷病院、串間市民病院

(鹿児島県) 公立種子島病院

※ 上記の国保直診は、会員施設のみである。